

芝・新橋 エリア

教育センター



周辺に水辺がないため、トロ舟を使って小川が流れ込む池をイメージして作成し、メダカと多様な植物が暮らしています。溶岩石等を使って土壌を作り、水が小川で循環することで自然に近づけています。

御成門小学校



桶を花壇に埋め込み、新規でビオトープを作成しました。枯れ葉などが入り込んだ結果、より自然に溶け込んだビオトープになり、児童がオタマジャクシを発見するなど環境学習を深めることができました。

御成門中学校



学校玄関に湿地帯ビオトープを作成しました。環境委員会が中心となり、毎日3回の観察記録を作成しています。水草を増やすことで水温の上昇を抑えるなどの独自の工夫も行い、メダカが繁殖しています。

赤羽幼稚園



旧園舎から移送したオタマジャクシを育ててカエルになる様子を観察しました。また、三田地区委員会からいただいたメダカを放流し、水草や鉢で隠れ家を設置するなど大切に育てています。

赤羽小学校



小学校新校舎に新規でビオトープを設置しました。企業からいただいたユリの根の植樹やオタマジャクシやカマキリの卵を見つけて観察カードを作成するなど、学年ごとに様々な取組を実施しました。

芝小学校



既存のビオトープを生かして、季節ごとに生物観察を行い、メダカやトンボ、カエル等を発見しました。iPadで写真を撮ったり、オタマジャクシを教室で飼育することで生き物への関心を深めました。

